

道路敷地(一般国道

号)境界明示図

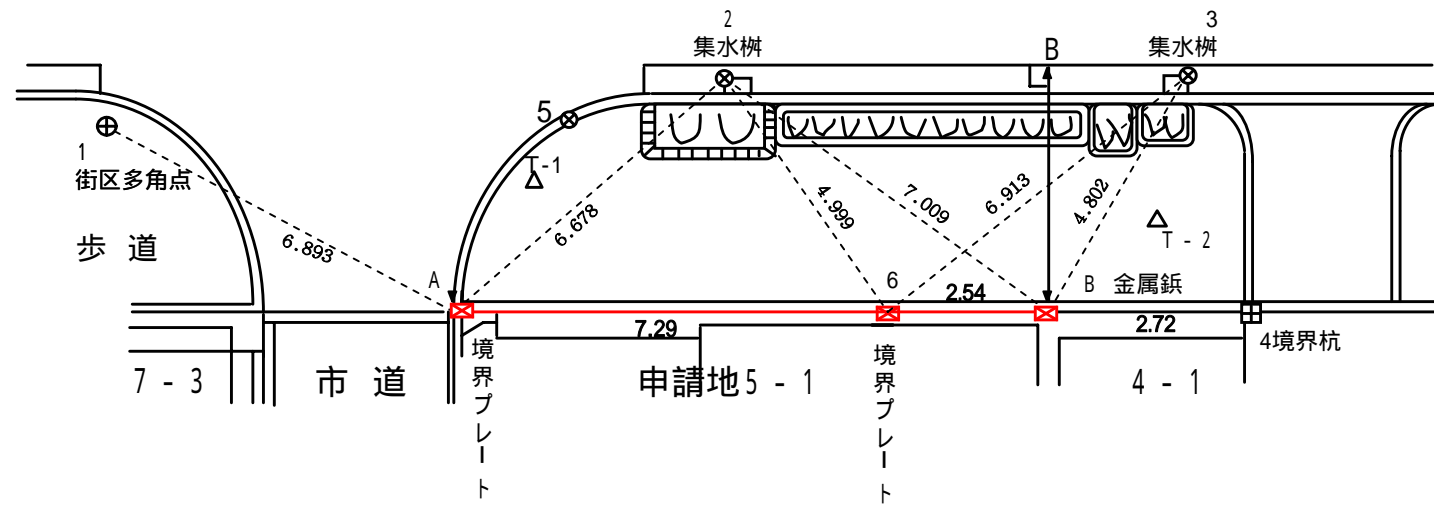
明示地

と道路敷地

平面図 S=1/500以上

中央分離帯

至



至

赤線のとおり道路敷地境界を明示する。

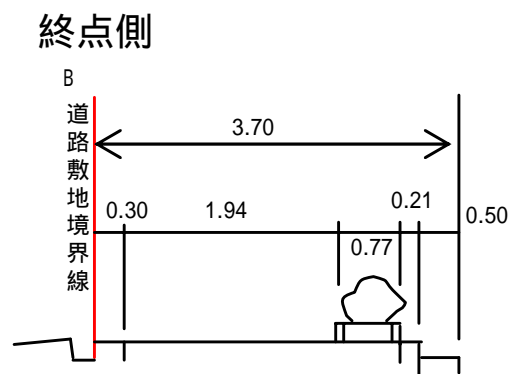
〇〇 年 月 日

道路管理者

近畿地方整備局長

本境界明示は道路敷地と申請地との関係のみについて行ったものである。

断面図 S=1/100以上



単位: m

明示辺長はcm単位、引照点間距離はmm単位まで記入すること。

凡例	
	道路敷地境界線(赤色実線)
	道路区域線(赤色破線)
	境界杭(コンクリート杭)
	境界プレート
	街区多角点・街区多角節点
	引照点、測量点
	トラバー点

座標リスト

測点	標識名	X座標	Y座標
A	金属標示板(境界プレート)		
B	金属標示板(境界プレート)		
1	街区多角点		
2	引照点(集水樹外枠内角)		
3	引照点(集水樹外枠内角)		
4	境界杭		
5	補助基準点(国 -)		
6	金属標示板(境界プレート)		
T-1	トラバー点		
T-2	トラバー点		

【注】

境界線は赤色実線として下さい。
 断面図がある場合は、位置を表示して下さい。
 引照点は各測量点2カ所として下さい。
 方位、至、凡例を記載して下さい。
 現地境界杭(板)があればその位置を記載して下さい。
 境界杭等の詳細表示が必要な場合は、境界点拡大図を引き出して表示して下さい。
 座標値がある場合は、境界上の測点(起終点・変化点)、基準点及び引照点等の番号及び座標値を表示して下さい。(座標値は原則、世界測地系として下さい。)
 図面作成者に関する記載は、別様の同意書に記載して下さい。